



金山・下金山小学校カヌー遠足

度に引き続き実施致しますが、初年度の精査を図りながら、我が町の特色であるカヌーや自然学習、共通教科としての英語教科において教員の派遣授業や交流授業をより一層展開していき小学校から高校までの12年間の学習カリキュラムの作成にとりかかるよう考えています。

環境学習においては、イトウを始め南富良野に生息する希少動植物の学習を行い自然保護の必要性を体感できる学習に取り組みます。これらのことをより具体的にするため、基本的な教育方針として3つのテーマを設定し推進してまいります。

「ス」を解消するために、小・中・高の教員の「相互乗り入れ授業」なども実施してまいります。

学力向上の施策

学力向上の重要な要素として、言語活動の充実があげられます。言語は、知的活動の基盤であり、記録、要約、説明、論述などといった学習活動をとり入れた、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりが求められています。さらに、人と関わる力を身に付けさせる学習活動の工夫改善に努め、子ども達同士が相互に向き合いながら学習に取り組む「対話型授業」を実施するなど、より確かな学力を定着させる取り組みを進めてまいります。

外国語教育においては、小学校外国語活動と中学校・高等学校の英語教育の円滑な接続に努め、各学校種における到達目標を共有し、相互乗り入れや長期休業中の英語キャンプなどを取り入れ、実践的コミュニケーション能力の向上に努めてまいります。

加えて、読書活動の充実

安心・安全な学校づくり

基本方針の1つ目として「安全・安心な学校づくり」であります。

学校施設の耐震化

東日本大震災以後校舎の耐震化が急激に進み平成24年度において全国で84・8%が対応済みであり、北海道においても69%が何らかの対応をしております。わが町においては、小学校の耐震化が進んでおらず北落合小学校以外について耐震化を図る必要がある現状となっております。小学校の統廃合を考えた時に、このことも大きな要因の1つとなっております。



統廃合が予定されている北落合小学校



落合小学校読み聞かせ会（読み聞かせ：千里大学）

努め、様々な生き方や考え方にふれる機会を多く設定するなど、深く物事を見つめ、考え、互いに人間として尊重し合える人格の形成に努めてまいります。

また、子ども達が正しい勤労観、職業観を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、社会人、職業人として自立していくためには、「キャリア教育の推進」が重要となります。

キャリア教育の推進のためには、全ての教員が児童生徒を取り巻く社会環境の変化や学校の教育活動を通じて進められるキャリア教育のあり方などについて、共通認識を深

体力の向上

基本方針の三つ目は「健やかな心身の発達・育成」であります。

健やかな心身の発達・育成

北海道の子ども達は、全国平均より、体格は上回っていますが、体力的には最下位

また、食の安全につきまして年間4万6千食以上の学校給食を提供している学校給食センターは、昨今のノロウイルス等の感染症対策を万全に行うばかりでなく、これまでと同様に食品アレルギー調査



南富良野中学校の福祉施設訪問

めることが重要です。12年間を見通した全体計画の作成、小・中・高教職員の合同研修会の開催、地域素材を生かした「職場体験学習」など、発達課題に応じた連続性のあるキャリア教育を推進してまいります。



統廃合が予定されている落合小学校

いじめ対策

を実施して、特異体質のある児童生徒を把握し、各学校へ事前にアレルギー食品情報を提供しながら学校と協議を重ね、給食業務の安全体制を強化してまいります。

施設についても、衛生面に不安が生じないよう必要な予算を講じるなど十分に配慮してまいります。

給食業務を単なる食事提供とするのではなく「食育」として教育に取り入れ、食材や安全な生産体制など関連学習を行うよう進めます。

連携教育

我が町の各学校においても、わかる授業を実践するとともに、自ら学ぶ力を育み、家庭との連携により、学習習慣を定着させる取り組みが必要となります。

また、巡回指導教員を活用するなど、指導方法や指導体制の工夫・改善に努め、「中1ギャップ」、「高1クライシ

確かな学力の向上

基本方針の2つ目には「確かな学力の向上」です。

昭和55年度から導入された詰め込み教育を反省したいわゆる「ゆとり教育」が実施されてきましたが、グローバルな時代に対応できない、基本的な学力が身につかないなど様々な分野で弊害が出てくるようになってきました。平成24年の教育の見直しによって国際競争を意識した人材づくりが求められるようになり確実な基礎基本の学力の習得が必要とされています。

情操教育

子ども達の情操教育には、本町にも生息している絶滅危惧種のイトウ生体学習ばかりでなく他の小動物などの生態についても枠を広げ「生命」について学習を行い、生きることの大切さや尊厳を学ぶ中でいじめ根絶を図ります。

これら情操教育を行うには学校はもちろんですが、学校と連携し家庭や地域でも実践できるような学校、だより等で協力を呼び掛けます。日ごろから社会性と地域の一体感を持たせるよう「早寝早起き朝ごはん運動」や「あいさつ運動」に取り組み、社会でともに生きる力を培う児童・生徒指導の充実を図ってまいります。

南富良野高等学校

南富良野高等学校については、ありますが、3年生12人が卒業し平成25年度は新たに27名の入学予定者の応募をいただき、全校生徒78名となる予定であり、この生徒達一人ひとりの能力や適性、更には進路に応じた教育活動を実践するとともに、豊かな心の育成を目指して、様々な活動を体験させるなど地域の特色を生かした学校づくりに努めていくところであります。

学習活動につきましては、進路希望に応じた類型選択科目を配置するとともに、習熟度別授業、複数教員による授業、コンピュータを活用した情報教育、英語指導助手による語学学習など生徒個々の実態に応じた多様な指導を展開してまいります。

また、3年目の配置となる学習支援員により、平日の放課後や長期休業中を利用した補習、部活動との両立に配慮した早朝講習や土曜日講習等を行い、基礎・基本の定着から確かな学力の向上に取り組